

plants 

June - July 2023

こ ん な 本



読 ん で み て

No. 101



目次	
plants	1
Book design の世界 vol.31	10
ちょこちょこ日記 #41	12



読むと、大切に育てたり、観察を楽しんだり、
植物にふれてみたくなる、そんな植物の本を紹介します。

『ボタニカ』

著者／朝井まかて

出版社／祥伝社

出版年／2022年

請求記号／913.6||A 83



朝ドラ「らんまん」のモデルとなった日本植物学の父
といわれる牧野富太郎。小説『ボタニカ』には、明治
初期の土佐に生まれた牧野富太郎の植物への情熱に満
ちた波乱の人生がいきいきとえがかれています。



『愛なき世界』

著 者／三浦しをん

出版社／中央公論新社

出版年／2018年

請求記号／913.6||Mi 67

恋のライバルが植物！？洋食屋「円服亭」で働く藤丸陽太は、植物学の研究をしている大学院生の本村紗英と出会います。藤丸の恋のゆくえとともに、奥深い植物の世界に興味をわいてくる一冊です。

『植物図鑑』

著 者／有川浩

出版社／角川書店

出版年／2009年

請求記号／913.6||A 71



ふとしたことからさやかは突然イツキと暮らすことになります。イツキの作る草花料理や草花の話を読むうちに、道端に咲く草花が気になって、時においしそうに見えてくるかもしれません。さわやかな恋愛小説。

『園芸少年』

著 者／魚住直子

出版社／講談社

出版年／2009年

請求記号／913.6||U 79



高校の園芸部にふとしたきっかけで入部した男子3人の物語。接点のなさそうな人が植物を通して喜びやくやしさを共にしながら友情を育み、成長する姿が心に響きます。



『ごきげんな散歩道』

著 者／森沢明夫
出版社／春陽堂書店
出版年／2021年
請求記号／914.6||Mo 63

小説家・森沢明夫の日々の散歩の記録がつづられた一冊です。ゆったりと散歩を楽しむ中で出会う季節の草花などの小さな幸せ。読むとすっきり穏やかな気持ちになれます。

『木のみかた

『街を歩こう、森へ行こう』

著 者／三浦豊
出版社／ミシマ社京都オフィス
出版年／2017年
請求記号／650.4||Mi 67



街の中にも森がある！？全国3000箇所以上もの森を歩き続ける「森の案内人」が身の回りに自然があふれていることを教えてくれる一冊です。

『美しき小さな 雑草の花図鑑』

写 真／大作晃一
文 　／多田多恵子
出版社／山と溪谷社
出版年／2018年
請求記号／470||O 69



雑草の花の魅力を拡大写真で紹介する一冊です。身近な草花がこんなに美しいなんておどろきます。雑草をじっくり見つめてみたくくなります。



『花ごよみ365日』

季節を呼びこむ身近な草花の生け方、楽しみ方』

著 者／雨宮ゆか
出版社／誠文堂新光社
出版年／2015年
請求記号／793||A 44

著者の一年365日の「生活の中の花」の写真に、言葉が添えられていて、四季の移り変わりや静かな美しさを感じられます。さりげなく美しい花の飾り方を生活に取り入れてみたくくなります。

『I LOVE 盆栽』

著 者／葉住直美, ザ・ハレーションズ
出版社／エムディエヌコーポレーション
出版年／2017年
請求記号／627.8||H 49



盆栽の魅力を様々な角度からポップに紹介しています。ブロックの盆栽、盆栽プラモデルなどの紹介もあり、遊び心たっぷりの一冊です。あなたはどの盆栽に惹かれましたか？

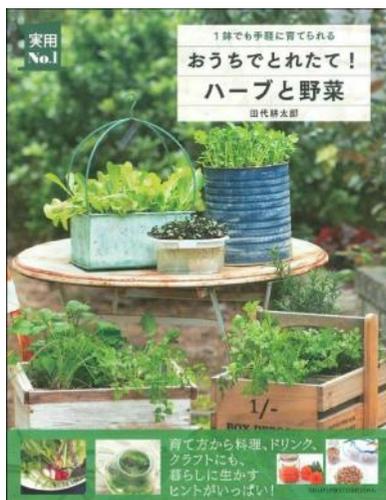
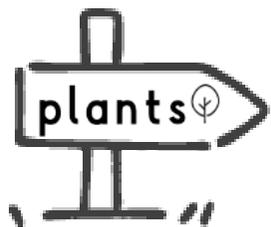
『ドライフラワーの飾り方』

お部屋がもっとお洒落になるアイデア集』

編 者／誠文堂新光社
出版社／誠文堂新光社
出版年／2015年
請求記号／594.9||Se 17



はかない美しさを感じさせるドライフラワーを、インテリアやプレゼントに取り入れてみませんか？おしゃれな写真をながめているだけでも楽しい一冊です。



『おうちでとれたて!ハーブと野菜』

著 者／田代耕太郎

出版社／主婦の友社

出版年／2021年

請求記号／626.9||Ta 93

室内の窓辺やベランダでも育てられるスプラウトや丈夫で育てやすいハーブなど、初心者でも始めやすいものが紹介されています。収穫を楽しみにしながら、ハーブや野菜を育ててみませんか？

『部屋で楽しむ 小さな苔の森』

著 者／石河英作

出版社／家の光協会

出版年／2018年

請求記号／627.8||I 76



室内で手軽にコケを楽しむことができるテラリウムの作り方をわかりやすく紹介する本書。アレンジ方法もおしゃれでコケの魅力が満載です。

『切り花を2週間長もちさせる はじめての花との暮らし』

著 者／谷川文江

出版社／家の光協会

出版年／2020年

請求記号／793||Ta 87



ちょっとしたコツを知っていれば、お花をきれいに長く飾ることができます。この本を読むと、お花のある暮らしをはじめてみたくなります。

Book design の世界 vol.31 krran

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第31回目は、krran です。

今回は、デザイン事務所 krran (カラン) の装丁をご紹介します。

はじめにご紹介する『読むだけでぐっすり眠れる52の話』(キャスリン・ニコライ著/桜田直美訳/かんき出版/2021年/933.7||N 71) は、小さな村を舞台にした小さな物語が心地よい眠りに導いてくれる一冊です。カバーのデザインを眺めるだけでほっと落ち着いて、遊び紙のクラフト紙をめくると穏やかな気持ちになれます。一日の終わりに気持ちを整えるのにぴったりな装丁です。



装丁：西垂水敦・市川さつき (krran)

『繊細な人が快適に暮らすための習慣』

『医者が教えるHSP対策』(西脇俊二著/KADOKAWA/2020年/493.79||N 87) は、精神科医である著者による繊細な人が快適に暮らすためのヒント集です。さわやかな色合いで気持ちが軽くなり、イラストとタイトル文字のやさしい雰囲気困りごとにやさしく寄り添ってくれるように感じられるデザインです。



ブックデザイン：西垂水敦・市川さつき (krran)
イラスト：松岡マサタカ

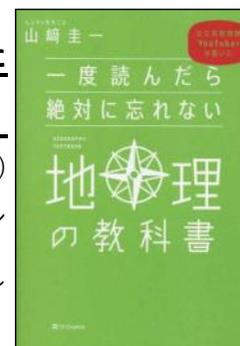


カバーデザイン：西垂水敦(krran)

『150年前の科学誌「NATURE」には何が書かれていたのか』(瀧澤美奈子著/ベレ出版/2019年/405||Ta 73) は、創刊150周年を迎えた科学誌『NATURE』の創刊当初の記事を様々な角度から紹介する一冊です。長い歴史を感じさせるかすれ、知的好奇心をくすぐられるタイトルや写真のレイアウト。タイムカプセルを開いてメッセージを受け取るような気持ちになるデザインです。

『公立高校教師YouTuberが書いた一度読んだら絶対に忘れない地理の教科書』

(山崎圭一著/SBクリエイティブ/2023年/290||Y 43) は、公立高校教師YouTuber「ムンディ先生」シリーズの第6弾です。シンプルでありながら親しみやすく、一度見たら忘れないデザインです。



装丁：西垂水敦(krran)

最後に『教養としての「世界史」の読み方』

(本村凌二著/PHPエディターズ・グループ/2017年/204||Mo 86) をご紹介します。古代ローマ史研究の第一人者が世界史の読み方を伝える一冊。クールでかっこいい装丁なので、知的な読書時間が味わえそうです。このシリーズの他の本もkrranが装丁を手がけています。デザインを比べてみるのもおもしろいかもしれません。



装幀：西垂水敦(krran)

今回ご紹介したkrranの装丁は、その本一冊一冊を手にとることがうれしくなるようなデザインばかりでした。

Book design の世界 次回もお楽しみに!

ちょこちょこ日記 #41 「たねの図書館」

今回は「plants」をテーマに植物に関する本をご紹介します。
た。ぜひ読んでみてください。

図書館では、5月末まで「たねの図書館」という企画を開催して
いました。図書館で種を借りて、植物を育てて種ができたら
図書館へ種を返却するというものです。参加してもらった方が
楽しく育ててもらえたらうれしいです。

今、図書館の外のプランターで、
ニゲラとフウセンカズラを育てていま
す。これからも植物が増えていくかもし
れないので、通りかかったら見てみて
ください。花が咲いて、種が取れるで
しょうか。成長がとても楽しみです。



次号 No.102 は、2023年8月発行予定です。

こんな本読んでみて No.101

2023年6月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>